

# THE 市町支援通信

～三重県に生まれ育つすべての子どもに途切れのない支援を～

子ども心身発達医療センターは、途切れのない支援システムの構築を推進しています。

三重県に生まれ育つすべての子どもの発達保障・子育て支援をめざし、子ども心身発達医療センターは多くの市町と共働しながら、以下の取り組みを進めています。

- ①発達総合支援室（保健・福祉・教育の一元化室）・機能の設置
- ②「CLM（チェック・リスト・in 三重）と個別の指導計画」による保育所・幼稚園での早期発見・支援  
\*「CLMと個別の指導計画」は、子どもの育ちを見極め、適切な支援を行うためのツールです。
- ③みえ発達障がい支援システムアドバイザーの育成支援

## 生まれ育ち生活している地域での 支援ネットワークを発展させます

子ども心身発達医療センター長 金井剛

コロナ禍の中、アドバイザーやCLMコーチ、発達支援に携わる皆様は、大きな変化や制約を受け、それでも様々な工夫をしつつ日々ご活躍されていることと思います。

地域の小児科の先生方を対象とした『発達障害連続講座』も、やはりコロナの影響で当初の予定からは遅れましたが、3月には5回の講座を終了します。WEBによる開催を余儀なくされ、顔を合わせてお互いを知り合うことはできませんでしたが、その分毎回50名以上の先生方に聴取していただくことができました。

終了後のアンケートの結果から、新年度以降も講座を引き続き開催してほしいとのありがたいご意見をほとんどの先生方からいただきました。そして、それ以上に喜ばしいこととして、30名以上の先生がアドバイザーや地域の療育機関と連携したいと考えていることが分かりました。アドバイザーをコーディネーターとして、小児科の先生方を中心としたネットワークを作り、当センターやNPO ライフ・ステージ・サポートみえがその支援をするシステムが求められているという事を強く実感しました。

今後アドバイザーやCLMコーチの皆様は、各地域でネットワークを希望されている先生や医療機関、その地域に在住しているペアレントメンターなどの情報をお送りいたします。そのうえで具体的にどのような手続きを踏んでNPOやセンターが協力するのか、そのマニュアルを現在センターで作成中です。これも出来次第送らせていただきます。

NPOの担当職員も2名になり、センターとして今後もNPOとの協働のもと、アドバイザーの養成やCLMの普及に努めるだけでなく、市町発達総合支援室への支援、すなわち地域への支援に力を尽くしたいと考えています。

発達支援に携わる皆様には、三重県に生まれ育つ「発達に課題のある」子どもたちが、可能な限りその生まれ育ち生活している地域で支援を受けられるシステム作りにはどうかお力を貸してください。そしてそれを支える中心的な存在としてご活躍ください。センターもNPOと手を携えて応援いたします。よろしくお願い申し上げます。



# ミニ学会をWebにて開催しました

令和2年12月13日（日）みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修会（通称：ミニ学会）をウェブにて開催しました。

この研修会は、各市町において発達障がい児に対する途切れのない支援を行うため、専門的な知識をもって地域のリーダー的役割を果たしている「みえ発達障がい支援システムアドバイザー」が、アドバイザー相互の協力により資質を高めるとともに、研修会を通じて一層の専門性の向上を図ることを目的として毎年開催しています。11回目の開催となる今年度は、「幼児期から小・中学校への途切れのない支援」をテーマに、行いました。



鳥羽市アドバイザーからは、保護者支援について事例報告をしていただきました。「傾聴」や「共感」しつつも、「見立て力」が必要であることを共通理解しました。また、伊勢市アドバイザーからは、「CLMと個別の指導計画」推進のための園へのアプローチ方法について問題提起がなされ、解決策を話し合いました。そして、桑名市アドバイザーより通級指導教室について事例報告をしていただき、通級指導対象児への支援のあり方について理解を深めました。

## みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修 研修者報告会

1年間の成果を報告しました

令和3年2月26日（金）研修者報告会をウェブにて開催しました。

今年度の派遣5市町（いなべ市、菰野町、四日市市、名張市、多気町）の課長さんをはじめ関係者の方々、次年度以降研修派遣を検討されている市町の関係者の参加をいただき、研修者5名がそれぞれの研修成果を報告しました。研修内容とテーマ、研修者の学びは以下のとおりです。

### 「CLMと個別の指導計画」を通して学んだこと

CLM巡回指導研修を通して、プランの取り組みで実践した有効な支援を日常の保育に取り入れ、続けることで子ども達は大きく成長するとわかりました。クラスの他の子と比べて“落ち着かない”“よく喋る”など気になる部分を見てしまいがちですが、比較するのではなく、その子自身の誕生から今日までの成長を縦の軸で捉えることの大切さを学びました。

### 外来発達療育を通して学んだこと

療育のエッセンスは、「CLMと個別の指導計画」と共通であり、発達に見合った適切な教材とわかりやすく規律のある支援が重要であることがわかりました。重度の知的障害を伴う子どもたちのグループを担当し、あそびは自ら獲得していくものではなく、教え導くものであると学びました。また、親子プログラムを実践することで、親の悩みに気づき、孤立感や孤独感を軽減できるようなアドバイザーになりたいと思いました。

### 入院治療を通して学んだこと

カンファレンスや個別療育を通して、子どもの問題行動の発生機序を探り、その要因を分析し、本人が納得できる支援を組み立て、実践する手法を学びました。自己理解を促進することが本人を助けることにつながるとわかりました。

また、家庭訪問などの家族支援についても学ぶ機会を得て、地域で家族を支えるアドバイザーとして必要な力と市町の支援システムの重要性を学びました。



5名の研修者からご挨拶

# 石・ハサミ・紙 を使って じゃんけんあそび を楽しもう！！



Aくん 年中男児

・クラスのみんなから遅れて行動することが多い



クラスの様子 年中20名

・元気で明るい

担任の願い

先生の指示を理解して、行動できるようになって欲しい



名前: Aくん

チェック項目 (3) 先生の指示を聞いて行動できない

エピソード じゃんけんをする時、「先生はグーを出すから Aくんは先生に勝つように出してね」と声をかけるがいつもチョキを出す。

要因 ①じゃんけんの勝ち負けがわからない  
②経験が少ない  
③モチベーションがあがらない

目標 自由あそびの時、担任と二人で勝ち抜きじゃんけんあそびをすることができる。

期間	具体的な指導方法		結果・評価		
	<クラス環境の整えとクラス全体の支援>	<個別の支援>	月日	○×	特記事項
11/4 ~ 11/17	<p>&lt;環境&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけんの勝ち負け表を掲示する。</li> </ul>				
2W 10回	<p>&lt;朝の会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・じゃんけんの勝ち負け表を見せ、具体物(石、ハサミ、紙)を使って説明する。</li> <li>・クラスみんなで勝ち抜きじゃんけんあそびをして、勝ち負けを教える。</li> </ul>	<p>&lt;自由あそびの時&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担任と2人で行う。</li> <li>・じゃんけんあそびの時間を毎日設ける。</li> <li>・じゃんけんあそびの前に、じゃんけんの勝ち負け表を見せ、具体物を使って説明する。</li> <li>・Aが勝ったら、ポイント表にシールを貼ることを伝える。</li> <li>・担任がじゃんけんを出してから、それに勝つようにAにじゃんけんを出させる。</li> <li>・「先生はOO」「Aくんが勝ってね!じゃんけんぼん!」と声をかける。</li> </ul>			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・勝ったらポイント表にシールを貼らせる。</li> <li>・5回ほど繰り返す。</li> <li>・「じゃんけんあそびできたね」とタッチでほめる。※勝ちができたなら、負け、あいこのプランも順に行う。</li> </ul>			<p>評価日: 11月18日(木) 16:00~</p>

具体物(石・ハサミ・紙)を使って説明したことで、じゃんけんの勝ち負けについてわかりやすく伝えることができました。

Aくんはクラスのみんなと一緒に“へびじゃんけん”もできるようになりました。

担任



# 2021年度の取り組み(予定)

継続して県内における「途切れのない支援システム」の構築を市町の皆さんと一緒に進めます。関係者の皆様には、今後ともご理解とご協力をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、ウェブでの開催を中心とさせていただきます。

2021年度行事予定 (2021年3月現在の予定です。都合により変更する場合があります。)

## スキルアップ研修会

2021年4月20日(火曜日)

対象：みえ発達障がい支援システムアドバイザー、CLM コーチ

## 途切れのない発達支援研修会 圏域ワークショップ(初級)

※全てウェブでの開催とさせていただきます。

2021年5月8日(土曜日)

2021年5月23日(日曜日)

2021年5月30日(日曜日)

対象：保育士・教員・保健師等子ども支援に携わっている方、関係行政職員等

## 合同研修会

2021年7月27日(火曜日) 三重県総合文化センター 中ホール

対象：県民一般

## 「CLMと個別の指導計画」実践報告会

2021年11月23日(火曜日・祝日)

対象：保育士・教員・保健師等子ども支援に携わっている方・関係行政職員等

## みえ発達障がい支援システムアドバイザー研修会「ミニ学会」

2022年1月8日(土曜日)

対象：みえ発達障がい支援システムアドバイザー

## 研修者報告会

2022年2月25日(金曜日)

対象：研修者派遣市町関係職員等

※2021年3月11日現在  
(4月に変更の可能性あり)

※児童精神科外来

担当医一覧

※初診予約専用ダイヤル

**059-253-2020**

	月	火	水	木	金
1診	中島医師	金井医師	高城医師	金井医師	大槻医師
2診	柿元医師	中西医師	中野医師	中西医師	
3診		中島医師	大槻医師		
4診	東医師		柿元医師		
5診		久納医師	久納医師	加藤医師	東医師

令和3年(2021年)3月11日

<発行>三重県立子ども心身発達医療センター 発達総合支援部 地域支援課

〒514-0125 三重県津市大里窪田町 340 番 5

電話番号 059-253-2000(代) FAX 059-253-2029

MAIL:childc@pref.mie.lg.jp URL:http://www.pref.mie.lg.jp/CHILDC/